

1964年



日本作家代表団が訪中 郭沫若氏は、亀井勝一郎氏を団長とする一行と会見の後、団員のひとりひとりに毛主席の詩を揮毫した。(左から)王曉雲、武田泰淳、亀井勝一郎、大岡昇平、郭沫若、白土吾夫、由起しげ子、謝冰心の諸氏
——1964年3月19日 北京

東海道新幹線開通。東京オリンピック開催。池田勇人内閣から佐藤栄作内閣へ。中国では毛主席語録が刊行され、十月に第一回核実験に成功。映画「早春二月」が批判されるなど、文革の予兆が感じられる中、日中記者交換が実現。ソ連ではフルシ

チヨフからブレジネフへ。当協会などの招請で中国京劇院による訪日公演が実現、八都市で公演を行なった。また、新中国成立後、初の中国印刷代表団を招請した。
六四年の主な交流

◎1月 中国京劇院訪日公演団(団長・張東川、副団長・孫平化、団員・楊秋玲、劉長瑜らを含む六十三名) 来日、当協会などが主催し、東京をはじめ八都市で公演、演目は「西遊記」「水滸伝」「三岔口」「秋江」。

◎2月 日中国交回復実現のため中島健蔵、亀井勝一郎、千田是也の諸氏ら各界の二十五人が「よびかけ」を発表。

◎3月 日本作家代表団(亀井勝一郎団長、武田泰淳、由起しげ子、大岡昇平、白土吾夫の諸氏)訪中。中国バレーボール選手団(趙斌団長) 来日。

◎4月 中国印刷代表団(団長・王益商務印書館副董事長ら高級印刷技術者) 来日。

◎5月 「日中版画交流展」(主催・当協会、朝日新聞社等)を東京と北京で同時開催。中国卓球選手団(陳先団長) 来日。

◎6月 中国放送代表団(梅益団長、孟啓予、田蔚、張紀明、田志強、呉克泰、李繩銘、許中明、陳炳薪の諸氏) 来日。

◎7月 「現代中国画三十人展」(東京・白木屋) 北京で「豊道春海書道展」開催、豊道春海、西川寧の両氏ら訪中。玄奘三蔵円寂千三百年記念会(亀井勝一郎世話人代表)が東京で記念集会、来日した趙樸初氏が講演。

◎8月 「呉昌碩書・画・篆刻展」(主催・当協会、サンケイ新聞社 東京・白木屋で開催。「北京科学シンポジウム」に日本学術代表団(坂田昌一団長)が参加。白土吾夫事務局長訪中。

◎9月 松山バレエ団訪中公演団(清水正夫団長、北京などで「祇園祭」「赤い陣羽織」を公演。日中文化交流協会代表団(団長・土岐善麿、白石凡、中川一政、牛原虚彦、木村伊兵衛、杉村春子、白土吾夫、木村美智子の諸氏)訪中。中島健蔵理事長夫妻、プノンペ

ン経由、北京へ、日中協団とともに国慶十五周年祝賀行事に参加、毛沢東主席、周恩来総理らと会見、「日中両国人民間の文化交流に関する共同声明」に調印。中国映画研究視察団(蘇雲団

長、蘇理、王雄、黄栄甫の諸氏) 来日。NHK取材班(家城啓一郎、依田実、

岸本勝の諸氏) 訪中。

◎10月 日本卓球選手団(長谷川喜代太郎団長) 訪中。日本民族芸能家代表団(小生夢坊団長、岡本文弥副団長) 訪中。

◎11月 「紅樓夢展」(主催・当協会、朝日新聞社)を東京・白木屋で開催。二子ボーイ塚バレーボール選手団(大松博文団長) 訪中。

国慶十五周年を祝う協会代表団は往復とも、ちょっとした事件に見舞われた。往路の事件は、中島理事長夫妻に香港の通過ビザが発給されず、やむなくプノンペン経由で北京に向かったことである。所用のため中島夫妻と杉村春子、白土吾夫は数日繰り上げて帰国し、残りの六氏は十月十八日に香港から羽田へ飛ぶことになった。復路の事件はここで発生したのである。香港の啓徳空港を離陸後しばらくして、DC8機のエンジンが突如火を噴いたのである。客室の窓は黒煙の煤で目つぶしを食ったようになり、乗客は一時騒然となったが、協会の一行は泰然自若、土岐善麿団長と牛原虚彦は救命胴衣も着けずに瞑想に耽り、中川一政は状況を詩作、木村伊兵衛は機の内外をカメラに収めそのフィルムをビニールの袋に入れ救命胴衣にくくりつけていたという。機長の適切な判断で香港に逆戻り、事無

きを得たが、帰国は一日遅れた。
(九十九)



新中国成立後、初めての中国印刷代表団を招請
印刷の新しい設備、技術、素材をいかに新中国に取り入れるか、一行の訪日は重要な意味もっていた。一行は、日本の出版・印刷界の協力を得て精力的に交流を行ない、今日に続く日中出版印刷交流の礎を築いた。歓迎レセプションで挨拶する中島健蔵理事長(手前左)。(後右から)鄭徳琛、周斌、王益団長、姜信之、朱文堯の諸氏

—1964年4月30日 東京



建国15周年を祝う天安門広場での式典に参加した中島健蔵理事長一行と日中文化交流協会代表団 (左から)牛原虚彦、中川一政、木村伊兵衛、白石凡、土岐善麿、郭芳為、中島京子、中島健蔵、白土吾夫の諸氏

—1964年10月1日 北京



中国放送代表団を招請 北京放送局日本語放送15周年にあたるこの年、一行は、日本の放送事情を視察し、関係者と友好を深めた。羽田空港で一行を歓迎する中島健蔵理事長(右一)。梅益団長(左手前)、田蔚(右二)、(後列左から)陳炳薪、李繩銘、田志強の諸氏

—1964年6月19日 東京



豊道春海氏の書道展、北京で開催 開幕当日、豊道春海氏(中央)の案内で会場を参観する(左へ)周而復、楚図南、陳雲詒中国書法家協会主席の諸氏

—1964年7月20日 北京

豊富な文物、資料などによって紹介する「紅樓夢展」を開催した。大観園の模型に見入る観覧者たち

—一九六四年十一月 東京・白木屋



中国電影工作者協会の蔡楚生主席(左)、凌子風監督(中)と交流する杉村春子氏

—1964年10月8日 北京・晋陽飯荘 中島健蔵氏撮影